

# みかんだより 5月号



新緑のまぶしい季節になりました。連休中は親子でリフレッシュで  
きたでしょうか？4月は子どもたちが新しい環境に少しずつ慣れて  
友だちや保育者と関わりを楽しんでいる姿が見られて温かい気持ち  
になりました。5月からも子どもたちのまなざしや思いを丁寧に受け  
止めながら関わっていきたいと思います。

## ～子どもらしい答えに、心和んだエピソード～

森（園庭東側のあそび場）にカラスがいました。

保育者「カラスはどこに行くのかなあ。」

Aさん「こうえん！」

保育者「こうえん、いいね！」

（この前、ママと公園でいっぱい遊んだって言っていたなあ）

## ～不思議がいっぱいから、イメージの世界へ～

Bくんは、「なんだあ？」とよく言っていました。

消防車が好きで、『しょうぼうじどうしゃじぶた』という絵本がお気  
に入りでした。「はんにん、けいさつ」という言葉もよく出てきて、ま  
つのき探索に行くときなど、“はんにんに見つからないように、そー  
っと行こう！”など、Bくんのイメージを友だちと一緒に楽しんでい  
ます。

最近『11匹のねこ』という絵本を持ってきます。

（猫たちが捕まえた大きな魚、まだ食べてはいけないという船の中  
で、夜が明けたら、魚が骨だけになっていたページ）

Bくん「はんにん！」

保育者「そうだね、はんにんが、たべちゃったね！」

（次のページ：まん丸になったお腹の猫たち）

保育者「ねこが、はんにんだったね！」

Bくん：嬉しそうな表情

犯人の仕業と言い当てたのが、さすがだなと思いました。面白いです。

## ～一言にこめられた感動～

朝の会にて、

保育者「今日は雨だね～。」

Cくん「いっぱい！」

保育者「そうだね！たくさん降っているね！」

ことばが始めた頃の子どもの一言には、今までの経験から獲得した  
一言だと思うと、とても嬉しい気持ちになります。



「ばーんがれ！  
（がんばれ）」と自分で掛  
け声をかけて一本橋に  
なっているところを歩  
くDくん。この日はベン  
チを一本橋のように歩  
いて渡ったDくんのと  
ころにEちゃんが来ま  
した。  
二人で、いい笑顔！



公園でたっぷり遊ん  
で、美味しそうにお茶を  
飲むFくんとGちゃん。  
春は、花や虫との出会い  
もたくさん！虫捕り名  
人のHちゃんが大活躍！  
ダンゴムシをあっとい  
う間に見つけています。

## 【みかんの家にようこそ♪】

大好きなママやパパと離れての初めての集団生活。

Aちゃん、Bちゃん、Cちゃんが、笑顔を見せてくれるようになったり、気持ちよさそうに眠っていたり、安心して過ごせているのを感じます。

連休明けは、またお家が恋しくて泣けてしまうかもしれません。そんな、行きつ戻りつしながら、自分の居場所を見つけて、その子らしく輝いていく姿を楽しみにしています。

“みかんの家大好き！”な場所になるように、保育者もゆとりを持って接し、温かい雰囲気心がけて行きたいと思います。



### 【鯉のぼりを作ったよ】

赤とんぼさんは、新しく自分のクレヨンを使いました。みんなでワクワクした表情で描いていましたよ。糊付けや、折り紙を破って貼るなど、ちょっと難しい作業も集中して楽しめるようになっていて、成長を感じました。



「じぶんでき  
つくったよ〜！」

